

[dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F / Siege : Oden Building 21-4 Higashi-

Marunouchi Tsu JAPON ☎0592 (26) 3159

N° 21 le 20 juin 1992 SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

1992年度総会 Alain DUCLOS 氏が記念講演

三重日仏協会・1992年度総会は5月10日、津市の都ホテルで開催され、各議案を原案通り決定しました。

総会に先立ち、アリアンス フランセーズ 名古屋のアラン・デュクロ氏を迎えて記念講演をお願いしました。デュクロ氏は、19世紀末葉に始まるアリアンス フランセーズの理念や創立の経緯、歴史と現状について詳しく講義されました。

総会終了後、歓迎レセプションをおこない、デュクロさんご一家をかこんで和やかに歓談しました。



武田会長が辞意

三重日仏協会の発足以来、会長として会の発展につくして来られた武田進会長は、このたび三重大学学長を退官されたのを機会に、本会会長も辞退したいとの強い意向を示されました。近く理事会で後任問題を協議する予定です。

今年度会費未納の方はぜひ早いめに納入してください。振り込み用紙を同封いたします。年会費3,000円です。



吉田さん

フランス留学体験談



山田さん

昨年の秋から今年の春にかけて、三重日仏協会の二人の女性会員がフランス語の勉強のため南仏ニース市に短期留学されました。山田紀美さんと、吉田道代さん。〈どんく〉編集部ではお二人にその経験談をうかがいました。なお帰国後、山田さんは名古屋にある「フランス アルザス・ガスコーニュ日本代表部」に勤務、吉田さんは四日市市のデパート内の小物店『遊糸』に勤め、パリと連結した商品企画をめざしておられます。

一時は帰ろうかと…山田

語学留学の機関もいろいろあるようですが、お二人はどんな…?

吉田 私はWECという世界的な規模の語学学校の、フランスの中でも暖かいニース校を選びました。ニース大学の付属のような形で、校舎もそこにあります。寮に入ることができました。

山田 私は限られた期間をまず考慮して大使館などでいろいろ調べた結果、EFカレッジという学校のニース校に入りました。レベルトガさんという家にホームステイしました。いろんな面で吉田さんと同対称的だったようです。

と言いますと?

吉田 私の方は経費も安く、働きながら学ぶ人が多い。アジア、アフリカ人など国籍も多彩。授業は厳しくフランス語以外はいっさい厳禁でした。特に二人ずつでやられるディアログ(対話)の授業は大変だった。

山田 こちらはほとんどヨーロッパのお嬢さまばかりで、英語がまかり通ってまし

た。概して勉強は甘く、こんなことではたして上達するのか疑問を感じ、一時は帰ってしまおうかと思ったほどだった。

でも自分が積極的にならなければならないと思いついて、学校に意見も言ったりして工夫して勉強しました。

信じられない上達?…吉田

さて、その成果はいかがでしたか。

山田 はじめ先生から「日本人は完璧主義でいけない。二〜三割でもわかる言葉があれば、それから全体の意味を想像しなさい」と言われ、努力しました。その結果、少しは聞き取りが進歩したと思います。また、ホームステイの家族との会話を通じて、生活上の喋りもだいたいできるようになりました。

吉田 自分ではどの程度上達したのかわからなかったのですが、入学のときとまったく同じテストを卒業のとき受けたのです。聞き取り、書き取り、長文読解などのテストです。先生から「信じられない進歩だ」と言われ、それこそ信じられませんでした。二人とも『耳が慣れた』というのが実感のようです。

山田 皆さんもぜひ行かれるといいと思

います。夏期講座や冬期講座やいろいろなあるようですが、誇大宣伝もあってパンフレットだけでは判断しにくいです。行って来た人の話を参考にして、その人の要求に合った学校を選んでほしい。

学校は別でも、お二人ともニースだからよく一緒だったのでしょう。

吉田 授業の時間がちがっていたので、あまり会えなかった。でも年末年始の休みに二人でイタリア旅行をして、すごく楽しかった。

南仏人の気質はホット

フランス滞在で、いろいろ印象にのこる事柄があったのではないですか？

山田 いわゆるカルチュア・ショックの連続でした。まず想像してたよりも何と貧しいのかと言うのが第一印象でした。でも、それは単に貧富の問題ではなく、生活のどこに重点を置くか、文化の違いだと理解できました。

消費生活では、食と住に重点を置いています。特に食生活は豊かです。

驚いたのは、お米をよく使う。炒めごはん、グラタン、サラダなど、何種類かの米を使い分けています。

吉田 人の気質についていえば、パリなどと違って南仏ではクールでなくホット、けっこう他人のことに興味をもちます。義理人情にも厚い感じ。パリの人たちも無関心のようにいて、困っている失業者などには、地下鉄でさりげなくカンパをしたり、日本人の方が冷たい。

激増するコンキュビナージュ

山田 結婚しない同棲の男女がすごく多いのが印象深かった。concubinage コンキュビナージュといいます。親の世代はカトリックのかちかちでも、いまは認めざるを得ないようですね。

吉田 最後に、パリで観たサラ・ムーンという人の『ミシシッピーワン』という映画、これは鳥肌が立ちっぱなしの感激でした。単純な物語ですがなんとも言えない素敵な映像。こっちへ来たらぜひ観てください。



ラクレット（チーズ料理）を楽しむルベルトガ家での山田さん



パリ・マドレーヌ通りで見た光景
『犬・猫・男性』
吉田さんの撮影による
(細部をよくご覧下さい)

OUVERTURE! <ドミニク・ドゥーセの店>

三重日仏協会のメンバーで、フランス料理講座の講師としておなじみのドミニク・ドゥーセさんは、これまで鈴鹿サーキットのブーランジュリー<グランプリ>のシェフとして腕をふるってきましたが、このほど独立、鈴鹿市江島町にパンとお菓子の洒落た店<ドミニク・ドゥーセの店>を開店されました。三重県に永住されるご決意とこのことで、パン作りを通じてフランス文化の紹介に貢献されることでしょう。

お店のご繁昌をお祈りいたします。



ドゥーセさんとスタッフ (6/3)



三重県鈴鹿市江島町字松池1026-1 プラドール 92 1F
PHONE (0593)88-2492

CONCERTS juillet~septembre

- 7/19 四日市文化会館 (本会后援)
四日市シンフォニックコーラス第6回定期演奏会
フォーレ レクイエム ほか
- 9/4 四日市文化会館 第二ホール (本会后援)
伊藤隆之ピアノリサイタル
ドビュッシー プレリュード第2集 ほか
- 9/24 愛知文化講堂
モーツァルト協奏曲全曲連続演奏会(第11回)
独奏・菅原美枝子(本会会員) ピアノ協奏曲変ロ長調k450 ほか

新入会員 (91年名簿作成以後) 敬称略

自見英彦	鈴鹿市末広町5349-54	☎0593-83-1806
水野悦子	桑名市堤原16	☎0594-22-4362
堀 玲子	伊勢市河崎1-12-1	☎0596-28-3849
吉川昭一	津市乙部30-17	☎0592-26-5711

賛助会員

(株)佐多商会 代表・佐多保彦 東京都港区東麻布2-3-4